昭和38年6月15日　第44号　(1)

THE KOHO NANKOKU

広報ナンコク

編集発行　南国市広報委員会　高知県南国市東崎1335 電2.111　川北印刷KK 電 2379

豆辞典

無料人権相談所

△離婚、財産分与など家庭の紛争、土地の境界商取引の問題など

△基本的人権を守り、あなたの悩みを解消するための法律上の心配ごと相談所。

毎月20日　後免町公民館

市の動態

人口　43,477人（男 21,049人　女 22,428人）

世帯数　10,930戸

本山	5,816戸	22,172人
三宮	2,194戸	9,306人
和食	1,456戸	5,786人
石立	935戸	3,342人
豊岡	709戸	2,871人

被害千八百町歩

6/4豪雨のツメ跡

さる四日の豪雨で国分川の丹宮セキ左岸が欠潰寸前となり、地区民が避難準備をととのえるなど大騒ぎとなったが消防団、警察、市当局の対策が効を奏し大事を食い止めた。

このほか耕地などにかなりの被害があり、市は同日夕刻早くも被害調査を済ませた。それによると人家床下浸水二十戸、道路擁壁倒壊四十箇、樹園地被害三百万円相当のほか、耕地の被害面積一千七百八十町歩に達している。内訳次のとおり。（単位町）

水稲＝冠水四七五、浸水一一、一九三、埋没＝一　葉タバコ＝冠水＝〇、三　浸水六八　園芸＝冠水〇・四、浸水一四　堤防欠潰＝約二百万円

なお、市では早朝からこく入いる災害情報とともに防災本部を設け全職員には待機の指令を、一部職員には非常出動を命ずるなどこれが対策にあたり一時危険とみられた、西島堤防について、県を通じて自衛隊の出動を要請したが、降雨がおさまるとともに水位も減少し、出動するまでにはいたらなかった。しかし、ひきつづき当日は地元消防団員と、市職員により夜半の警戒にあたった。

なお、これから台風の時期となるため、早急な復旧工事がのぞまれており、県や関係方面に交渉中である。

長雨異変で

イモチ病多発の恐れ

農作物の被害大

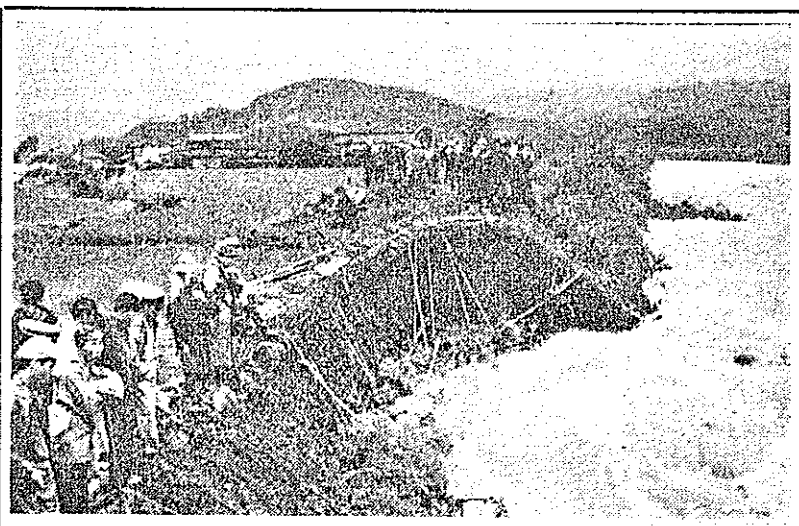
植付けから雨に悩まされたワセは徒長軟弱で分げつも少なく、しかも五月始めから降りつづく雨で全般的に葉イモチが発生し、まん延の恐れがある。

イモチ病の大発生は十四年目で、今年のイモチは進行型で続発しており、農家ではこれが防除に努めているが、悪天候のため完全な防除ができずますますまん延の徴候があり、大減収の予想がたてられている。取り入れどきの麦、ナタネは雨にくさり、家畜の飼料にも利用できず、堆肥にする農家が増え、収穫皆無の状態である。

また、トマト、スイカ、キュウリ、ピーマン、南瓜などの葉類も、落果現象や病害が発生、収量が激減し肥料代にもことかく農家もあり、大きな痛手となっている。

長雨異変による農作物の被害は大きく、今後の市の財政力にも影響するものとみられている。

なお、六月議会では、これが対策についての一般質問が多数議員からあるなど長雨による農作物の被害は、こん後政治的な問題として発展した。国もその対策を講ずる模様である。



決潰寸前（国府川西島堤防）

後免駅を拡張

本年から二カ年で

後免駅は地元の要望で、三十八、九両年度の継続工事として拡張されることが内定した。

工費一千六百万円は、地元が利用債を引き受けて造成する。

これは五年据え置き、十年後に償還されるもので、利子は六分七厘。

後免駅から発送される貨物は、一日平均百数十トンあるのに施設の不足でじゅうぶん貨車が配車されず、このため高知、旭両駅であまったものを回送して使ったり、荷上が両駅へ輸送して積み込まねばならぬ状態。

拡張計画によると北側水田を買収して駅を広くし、貨車専用線二本（計正一長二百五尺）を新設することになっている。

完成すれば、一日三百ドの貨物を消化し、輸送関係は一段と活潑になる見込みである。

香長中

通交安全に一役、笛隊が鼓

香長中学校の鼓笛隊は、先月行なわれた春の交通安全運動に一役買って市の中心部後免町付近をパレードし交通安全を市民に呼びかけた。

……パレード中の香長中鼓笛隊……

久礼田地区公民館完成

久礼田地区公民館は、このほど完成した。

旧久礼田村役場を改修した久礼田地区公民館。＝写真は新装の久礼田地区公民館。

国庁跡など

県文化財専門委員ら視察

国府地区にある国府史跡保存会では、このほど県教育長、県文化財調査専門委員等を招き、同地区に点在する国府跡、紀郎跡、比江堤跡などの史跡を現地調査を行なった。

これに、これらの由緒ある事跡を、県指定の史跡にしようというもので、確定的とみられている。

（写真は、比江山にある乾氏の墓所「鬼塔」）

岡崎さんら表彰さる

三十七年産たばこ耕作表彰

国府（史跡）指定か

式はこのほど行なわれ、市内の次の人たちが表彰された。

（専売公社表彰）品質向上＝岡林保馬、吉川俊水▽永年継続＝武内猪佐美、浜田久万喜▽大面積継続＝末政澄夫、吉本良▽生産協力改良団＝野田、前永田、甘枝上末松▽功労者＝傍士正美（全国たばこ耕作組合中央会表彰）＝武内猪佐美（県たばこ耕作組合連合会表彰）＝婦人団＝長岡（たばこ耕作組合表彰）＝吉川俊水▽同改良団＝野田▽永年勤続従代＝岡崎一雄

南国市美術展覧会

南国市美術展覧会本年度の市展は、さる二十日の実行委員会で次のとおり決定した。

主催＝南国市・高知新聞社
後援＝高知県美術振興会・土長美術振興会
事務所＝市教育委員会事務局
形式＝審査（優秀作品に表彰状）と副賞
会場＝後免野田小学校講堂（一般作品）同北校舎（児童作品）
会期＝十一月十七日～同二十四日
搬入＝十一月十三日午前九時～午後四時
搬出＝十一月二十五日午前九時～午後四時
作品部門＝絵画（洋画、日本画、版画）、まん画、書道、彫塑、工芸、写真、児童生徒作品
出品規定＝資格＝南国市に関係あるもの▽作品規定＝各部門とも大きさ、点数は制限ないが、会場のつごうや会場にふさわしくないものは制限する場合がある。未発表のものに限り、写真は四つ切り以上全紙まで。陳列に必要な装置、（額ぶち、表装、写真はワク張り）と所定の出品票に住所、氏名、性別、題材を記入し受け付けに出品する。

出品料は一点百円とし、作品の取り扱いと整理に慎重に行なうが、不慮の損傷については責任を負わない。

作品は市展実行委員会が委嘱した審査員が審査し、入選作品を展示する。

特別出品は審査員出品と招待出品とする。児童生徒の作品は別の規定によって扱う。

会長＝山下熊太郎▽副会長＝松木基治、吉村雅男▽監事＝北岡芳雄、竹島貞男、理事＝上村春吉、橋田正延、山本春光、高木正延、神田藤、中村熊喜、野村義実、岡崎武治、森本幸一、下田長蔵、桓石岩雄、福川藤茂、小沢浩正、細川二男、中橋明男、豊永茂春、池本泉、立田辰巳、管原重盛、門田耕喜

山田セキ踏み切る

物部川合同セキ問題解決

物部川合同セキ建設に参加をためらっていた、山田セキ土功組合当局は、このほど次の条件（物部川合同セキについて決定事項）で参加することに踏み切り、十余年来の難問にピリオドが打たれた。

①水量の確保、負担金の軽減、末流の配、排水についての満全の指導を得て、物部川合同セキの早期実現を期する。

②これが促進のため、推進委員会を組織し、会長を南国市議会議長、副会長を山田セキ浜田土功組合長、金堂南国市農業委員会長とする。

③一の条件を解決の見通しのたった際、直ちに土地改良区の設定手続きを行ない、合同セキ建設に着手する。

古墳を発見

久礼田地区植田で

久礼田の山中でこのほど古墳が発見された。

場所は忠霊塔の北、植田の山すそに当たる。

地元の人がシバ刈り中に発見したもので、上部の石はすでに取りのぞかれ、玄室の一部の石が現われている。この夏、岡本県文化財調査委員らが発掘の予定。

＝写真は玄室の一部が現われた植田古墳

退職一人もなし

勧奨退職不成功

市は人件費節約のため、満五十五才以上の高給高令の市役所職員にたいし、三十八年度初めの四月一日までに退職してはしいと勧奨していたが、応じるものが一人もなかった。

原因の一つに理事者側の説得の〝まずさ〟があげられている。

このため職員の配置計画に狂いができたが、やりくりして埋め合わせている。

なお職員の中には、七十才を越すものもいる。

日章農協の集荷場完成

日章農協組合の共同集荷場は、先月中旬完成した。

工費二百五十六万円、建物は軽量鉄骨を使い面積三百八十六平方尺、事務室なども完備している。

集荷場の完成により同地区の園芸物の一荷量も年毎に増える。